

**予告版**

NPO 法人日本障害者協議会（JD）2020 年度第 1 回連続講座のあらまし

※お申込みいただいた方には、事前に詳細なレジユメを送信します。

**国際障害者年から 40 年—障害者施策と運動の歩みを検証する  
目の当たりにした出来事、たくさんの学び、そして向かうべき方向は**

**【講演】 藤井 克徳 NPO 法人日本障害者協議会(JD) 代表**

日時：2021 年 1 月 23 日（土）13:00～15:00 \*オンライン

はじめに

- ・ 昨今の関連する動きで気になること
- ・ 講座のキーセンテンス（グラデーション中の節目、政策と運動は恋人）

I いま一度国際障害者年の本質を一障害分野の「黒船」

II 国際障害者年以前はどうなっていたのか（1945 年～1980 年）

1. まだまだ散発的、でも萌芽は着実に

- 1) 社会の動き
  - 2) 障害関連政策の動き
  - 3) 障害団体の動き
2. 押さえるべきポイント

III 国際障害者年以降の 40 年間・・・4 期に区分して子細に検証

1. 第一期（1981 年～1990 年）

- 1) 障害分野の出来事（主要なものに絞って。第二期以降も同じ）
- 2) 社会の出来事
- 3) 押さえるべきポイント

2. 第二期（1991 年～2000 年）

- 1) 障害分野の出来事
- 2) 社会の出来事
- 3) 押さえるべきポイント

3. 第三期（2001 年～2010 年）

- 1) 障害分野の出来事
- 2) 社会の出来事
- 3) 押さえるべきポイント

4. 第四期（2011 年～2020 年）

- 1) 障害分野の出来事
- 2) 社会の出来事
- 3) 押さえるべきポイント

#### IV 40年間を通して感じること

1. グラデーションと節目
2. 積み残したままの重大な課題
3. 運動の大切さ、民間団体が果たした役割

#### V 障害関連政策の近未来

1. 基本的な考え方（障害者権利条約に立脚して）
2. 基幹政策の拡充（5点にわたって）

#### VI みんなで取り組むこと、一人ひとりに問われること

1. 社会政策全体との連携（平和、人権、環境保全など）
2. 障害者権利条約を日本社会の隅々に
3. 民間活動（運動）に想像と創造、新たな節目の設定
4. 一人ひとりに問われること（誰にでもできること）

#### VII むすび

※講座当日は、貴重な写真などを紹介します。乞うご期待！